

2026
Winter

No. **73**

JA道北なよろ広報
令和8年1月1日

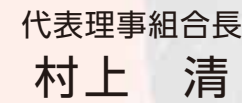
Rouhoku
ayoro



道北なよろ



頭の
 いさつ



又、当農協各事業に対し、
特段のご理解と多くのご利
用を頂いております事に心か
ら感謝申し上げます。

農業政策に於いては令和6年に今後20年を見据えて食料・農業・農村基本法が改

水田政策に於いては令和9年度から根本的な見直し
がされ、米の増産から需要に
応じた生産へと舵が切られた
ところであり、水田を対象と
して支援する水田活用の直
接支払い交付金を作物毎の
生産性の向上への支援の転換
となった方針が出されました。

一方、昨年の当農協の作柄と致しまして春先からの融雪は順調に進み、水田、畑作業

畑作・青果に於いては全道的な干ばつ傾向により馬鈴薯、玉葱などは小玉傾向となり収量が減収したところであります。又単価に於いても原料不足により高価格で推移しているところであります。

水稲でありますが、夏季の高温により生育が前倒しで推移し、平年より早い収穫になりましたが、例年より多い倒伏と収穫期の長雨により品質の低下が心配されたところでありましたが北海道の作況単収指数は98となり上川に於いては作況単収指数96になり当農協に於いては生産者の思う収量には届きませんでした。が、豊作となり品質は平

酪農・生乳生産に於いては
期中に乳価の改定がありま
したが依然と続く、飼料等の
高騰は生乳生産に影響があ
るところであります。6年度
に於いては生乳の生産抑制が
なされ生乳生産に於いては厳
しい状況の一年となりました
が7年に於いて生産抑制は
無いものの全道の生産枠が設
定されました。当農協としま
しては9月末に於いて計画の
101・4%と他の農協より
高い水準で生乳生産がなされ
たところであります。

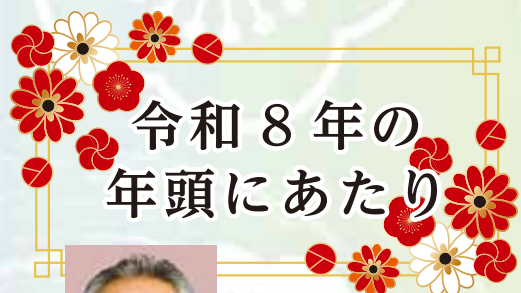
昨年の当農協の事業であ
 りますが、3月に名寄曙の米
 低温倉庫の引渡や10月に風
 連RC施設改修増強工事の
 着工が行われ、完了まで3年
 かかる非常に大きな工事がス
 タートしたところであります。

本年が組合員さんやご家族皆さんにとってご健勝で実り多い一年となるようご祈念申し上げます。



令和八年 元旦
道北なよろ農業協同組合

経営改善特別対策委員長



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長
樽井 功



新年あけましておめでとう
ございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平

年よりも順調に推移してありました。道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物等の収量および品質に影響が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の变化、円安基調の継続や国際競争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。

この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役職員をはじめとする多くの皆様のご支援をいただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一步を重要な礎とし、

改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続していきます。

JAグループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持つて営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本年は午年です。午年はエネルギーと行動力が高まり、挑戦や成長の機会が得られる年とされています。この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となること

と、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶



JA 道北なよろ
青年部部長
木之内 悟

新年あけましておめでとうございます。組合員並びに役職員の皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より青年部活動に対し、JA・関係機関・組合員の皆様からの温かいご理解とご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

昨年の青年部活動を振り返りますと、6月には組織内の連携強化を目指し三支部合同職員交流会を開催。8月には地域の皆様との大切な接点である産業まつりに参加し、11月には上川青年部大会と学習会・収穫祭などを実施いたしました。一方、昨年度から予定しておりました組合員交流会と大学との交流会は、残念ながら中止となり

ました。

中でも、毎年恒例となっております産業まつりでは、ドン菓子の販売を行い全て完売を達成し、農業や青年部への関心を高めていただくことを目的に実施したアグリクイズには、多くの方々にご参加いただき、青年部活動の認知度向上と良いPRの機会になったと強く実感しております。

また、学習会ではホクレンの営農支援センターより専門的な知見を持つ講師をお招きし、持続可能な農業の実現に向け近年需要が高まっている可変施肥を中心にお話をいただきました。参加した部員から活発な意見交換が行われ、部員一人ひとりの営農知識と意識を高める実りのある会となりました。

本年の活動におきましては、引き続き、与えられた環境の中で自身の役割を最大限に果たすことができるよう、役員をはじめ全部員との連携を密にし、円滑な青年部活動を展開してまいりたいと考えております。関係各位の皆様には、本年もより層のご指導・鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとって幸多き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



JA 道北なよろ
女性部部長
山田 由紀

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に対し、JA・各関係機関・組合員の皆様には格別なるご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年の本部活動を振り返りますと、11月の視察研修（札幌）には、総勢29名と若い部員の方々にもご参加いただき、福山醸造（株）・ホクレンパールライス工場・雪印メグミルク（株）を視察し、支部間・世代間の交流を図りながら有意義な時間を過ごす事ができ、非常に嬉しく思っております。

上川地区活動としては、6月に管外視察研修（道央方面）、8月に

は青年部とのコラボ企画「ご飯がすすむ農家めしレシピコンテスト」に向け「南瓜と豚肉のうま辛炒め」のレシピを作成し、10月コンテスト開催となりました。令和4年度から始まった事業ですが、9月24日には令和5年度に考案（住田美紀さん）した「スイートコーンのキーマカレー」が市内小中学校の給食で提供され、かつ名寄小学校にて名寄の農畜産物や農家の仕事についての出前授業を行い、食育へと繋がる活動になった事を喜ばしく思います。その他、JA上川地区女性研修会（旭川／8月・12月）、11月JA北海道女性大会・北海道家の光大会（札幌）。家庭介護教室（web開催）は組合員の皆様にもご案内し、多くの方にご参加いただきました。部長としてさまざまな事業に参加させていただき、他地区の方々と交流し刺激を受け、気づきと学びのある年でした。

この経験を部員の方々と共有し、今後の女性部活動がより魅力的になる様務めてまいりますので、関係各位の皆様には今後ともご指導・鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、今年二年の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



名寄市もち米生産組合
組合長
横山 圭太

新年あけましておめでとうござい
ます。

組合員の皆様、並びに各関係機関
の皆様には、日頃より多大なご理解
とご協力を頂いております事に厚く
御礼申し上げます。

昨年度を振り返りますと、3月末
日の降雪により育苗ハウスの遅れ、そ
の後も天気が安定せず悪天候のなか
春作業がスタートしました。作業の
遅れがありながらも、田植え後の天
候に恵まれ概ね順調に生育しました。
生育後半では高温長雨により水稻の
みならず、他作物にまで影響を及ぼ
してしまう結果となり、昨年度より
若干の減収傾向となりました。

しかしながら昨年はもち米・うる
ち米ともに価格が高騰する年となり
組合員の皆様におかれましては有益
な年になったと思います。近年の異常

新年のご挨拶



スイートコーン部会
部会長
北野 雅嗣

新年あけましておめでとうござい
ます。組合員の皆様におかれまして
は健やかな新年を迎えられたことを
お慶び申し上げます。

日頃より当部会活動におきまして、
各関係機関、部会員の皆様方にはご
理解、ご協力を賜りまして厚く御礼
申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先の天
候が安定せず、作業全体が遅れる心
配もありましたが、その後の回復に
より例年並みで定植作業をスタート
することが出来ました。低温の影響
などあまり無く、生育は概ね順調に
進みました。7月の高温により、生
育が全体的に進み収穫スタートも早
まり出荷ピークも例年に比べますと
1週間ほど早く今までにないものと
なりました。近年の高温傾向での品
種選び、定植時期のタイミングなど

年頭のご挨拶



食用馬鈴薯部会
部会長
木之内 薫

新年あけましておめでとうござい
ます。

日頃より当部会の活動において、各
関係機関・部会員の皆様方には、ご理
解とご協力いただきまして誠にあり
がとうございます。

昨年を振り返りますと、積雪は少な
く融雪は進んだものの、気温や地温が
なかなか上がらず、畑が乾きにくい状
況が続きました。そのため、春の作業
が思うように進まない一年でした。気
温が異常に高くなることはありませ
んでしたが、夜間の気温は連日高く、
雨不足の時期もありました。それでも
十勝地方の天候と比べれば、まだ恵ま
れていた方だと思っております。しか
し、当地区でもゲリラ豪雨がときどき
あり、防除のタイミングが難しい年で
もありました。

馬鈴薯の品質については、肥大期の
雨不足により大玉が少なく小玉が多

年頭のご挨拶



上川農業改良普及センター
名寄支所
支所長
若宮 貞人

新年にあたり謹んでお喜び申し上
げます。

昨年は昨年に続く猛暑となり、農
業生産にも様々な影響がみられた年
となりました。

令和7年の農作物の生産状況を振
り返りますと、平年に比べ融雪期は2
日、耕起盛期は畑地で9日遅れました。
降雨による大きな農作物被害はあり
ませんでしたが、は種や定植、収穫等
に関わる重要な時期に断続的な降雨
があり、各種作業が遅れた要因となり
ました。

水稻では、は種・移植終までは平年
並で推移し、以降は高温の影響もあり
平年より生育が大きく前進、収穫終は
7日早まりました。秋まき小麦では幼
穂形成期以降の生育は平年並で推移
し、登熟期及び収穫始は平年より5日
早まりましたが千粒重はやや低い傾
向でした。園芸では、昨年に続きかぼ

難しさを知る年となりました。定植
時期・品種によっては実の不稔、虫害
等また連日の収穫作業と部会員の皆
様におかれましては、ご苦労なさうた
とは思いますが、品質の良いスイー
トコーンの出荷に努めていただき誠に
ありがとうございます。出荷数量は
前年には届きませんでした。おかげ
をもちまして例年並みの高単価で
終えることができました。

また昨年より輸送面の見直しとい
うことで、パレット輸送の取り組みを
始めさせていただきました。それに
伴い箱のサイズ縮小、出荷規格の変
更と皆様のご意見を頂きながらの改
善、収穫途中での出荷内容の変更に
部会員の皆様にはご協力いただき進
めさせていただきました。市場者様
からは品質向上につながるとの声も
いただいております。また安定出荷にもつ
ながったと思っております。現在作付
面積も維持で推移し、市場各社から
も道北なよる産のスイートコーンは
高い評価を頂いております。今後も
スイートコーンの品質向上、優良品
種の策定等部会としても高品質の出
荷に向けまた高収益につながるよう
取り進めていきたいと思っております
で、皆様のご協力宜しくお願い致し
ます。

最後になりますが、皆様のご健勝
とご多幸をご祈念いたしまして年頭
のご挨拶とさせていただきます。

ちやの疫病が多発し、収穫量の確保に
大きく影響したことから、その対策に
向けた取り組みの必要性が高まる年
となりました。

近年は世界情勢に起因する資源や
エネルギー価格の高騰、それに伴う経
済や流通の停滞など、生活や農業情勢
を取り巻く環境が大きく変動してい
ます。

そのような中、四半世紀ぶりに改正
された「農業・農村基本法」では「食糧
安全保障の確保」が加わり、食糧や生
産資材の安定確保、先端技術を活用し
た生産性の向上等が盛り込まれ、北海
道でも第7期北海道農業・農村振興推
進計画が新たに始まります。長期的視
点で農業者が安心して農業に従事で
きる政策が期待されます。

農業改良普及センターでは、施策を
基に農作物の安定生産や多様な人材
が活躍する地域づくりに向け、これか
らも関係する皆様と共に活動を展開
していきます。

本年も引き続き、農業改良普及事業
へのご支援とご協力を賜りますよう
お願い申し上げますとともに、皆様の
益々のご健勝とご発展をお祈り申し
上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

道北なよろ農業協同組合

参事 石山 健一
 総務部長 斉藤 宏治
 金融共済部長 奥山 克志
 営農販売部長 佐藤 昌規
 購買部長 安達 秀一
 営農販売部次長 藤原 武憲
 兼営農センター長
 営農販売部次長 齋藤 祐次
 兼らくみらんと(株)出向
 購買部次長 吉田 敬志

〔本所〕
 監査室長 宗片 浩樹
 総務課長 多田 義明
 審査課長 秋葉 哲哉
 金融課長 林 龍一
 共済課長 齋藤 将
 営農課長 高橋 邦彦
 農産課長 堀 貴広
 購買課長 篠崎 英和
 燃料課長 今村 健司
 農機車輛課長 舟山 利昭

〔営農センター〕
 営農課長 仁木 康裕
 青果課長 菊池 真悟
 畜産課長 高岩 諭

〔名寄支所〕
 名寄支所長 藤原 雄一
 兼金融共済課長 井上 誠

〔智恵文支所〕
 智恵文支所長 佐々木 拓也
 兼金融共済課長 遠藤 政文



JA道北なよろ青年部
 部長 木之内 万恵
 副部長 宗東 野克
 副部長 宗東 野克
 副部長 宗東 野克

JA道北なよろ青年部
 支部長 山崎 瑞城
 支部長 山崎 瑞城
 支部長 山崎 瑞城

JA道北なよろ青年部
 支部長 山崎 瑞城
 支部長 山崎 瑞城
 支部長 山崎 瑞城

JA道北なよろ青年部
 支部長 山崎 瑞城
 支部長 山崎 瑞城
 支部長 山崎 瑞城

JA道北なよろ青年部
 支部長 山崎 瑞城
 支部長 山崎 瑞城
 支部長 山崎 瑞城

JA道北なよろ青年部
 支部長 山崎 瑞城
 支部長 山崎 瑞城
 支部長 山崎 瑞城

JA道北なよろ女性部
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀

JA道北なよろ女性部
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀

JA道北なよろ女性部
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀

JA道北なよろ女性部
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀

JA道北なよろ女性部
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀

JA道北なよろ女性部
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀

JA道北なよろ女性部
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀
 支部長 佐藤 美紀

名寄市もち米生産組合

組合長 横山 圭太
 副組合長 佐竹 直人
 副組合長 清水 裕

名寄市うるち米生産組合

組合長 干根 和幸
 副組合長 日根 星太

麦大豆良質生産協議会

会長 長谷川 隆一
 副会長 永井 健一
 副会長 鷺田 貴

グリーンアスパラ部会

部長 藤森 将二
 副部長 齋藤 宏孝
 副部長 平澤 幸徳

南瓜部会

部長 阿部 清一
 副部長 川崎 忠俊
 副部長 寺野 幸

スイートコーン部会

組合長 北野 雅嗣
 副組合長 及川 友和

食用馬鈴薯生産部会

部長 木之内 薫
 副部長 藤森 将二

加工馬鈴薯部会

部長 伊東 浩次
 副部長 山田 邦次

智恵文種馬鈴薯部会

会長 遠藤 貴広
 副会長 越藤 孝則

玉葱部会

部長 橋本 正弘
 副部長 清水 康史

百合根部会

部長 遠藤 寛
 副部長 佐藤 直人

花き生産組合

組合長 藤野 垣修
 副組合長 日野 明

西瓜・メロン部会

部長 佐藤 竹直
 副部長 佐藤 洋人

ピヤシリアスパラ研究会

会長 佐久間 博之
 副会長 松下 祐司

なよろ星空雪見法蓮草生産組合

組合長 神田 勇一
 副組合長 杉野 敦郎

カノコソウ生産組合

組合長 新田 聡司
 副組合長 田中 亮

コーン・馬鈴薯機械利用組合

組合長 清水 亮

JA道北なよろ酪農部会

部長 平間 孝宏
 副部長 田代 真一
 副部長 黒嶋 幸

JA道北なよろ畜肉部会

部長 鈴木 康裕
 副部長 鈴木 英二

道北なよろ酪農ヘルパー利用組合

組合長 水間 友幸
 副組合長 金藤 信明

名寄市乳牛検定組合

組合長 平間 大介
 副組合長 河野 壮登

JA道北なよろ外国人技能実習受入協議会

会長 三浦 知博
 副会長 島井 信雄

名寄地域ICT農業研究会

会長 花井 信雄
 副会長 島井 慶三

JA道北なよろ利用者年金友の会

会長 柴田 幹造
 副会長 小池 晴行

JA道北なよろ智恵文支所年金友の会

会長 五十嵐 勝
 副会長 木之内 和江
 副会長 伊東 里子

風連町農業青色申告会

会長 石谷 邦明
 副会長 泊り 雅司
 副会長 新田 幸司

名寄市農業青色申告会

会長 鷺見 悦朗
 副会長 沼澤 広二
 事務局 長 藤森 将二

風連町農民連盟

委員長 岡田 裕章
 副委員長 藤垣 年一
 書記 長 山池 亮

名寄市農民連盟

委員長 林 哲央
 副委員長 中川 雄介
 書記 長 花井 剛二

風連町農民連盟青年部

委員長 柿川 慎哉
 副委員長 西川 太
 書記 長 示沢 僚

風連穀類等乾燥調製施設 安全祈願祭

10月9日、風連穀類等乾燥調製施設にて、安全祈願祭が行われました。当日は、J A道北なよろ関係者をはじめ、施工業者や設計



担当者など約50名が参加し、工事の安全と無事故を祈願しました。

同施設では、もち米の生産量増

加に対応するため、トラックに乗ったまま計量できる「トラックスケール」を導入し、搬入時間の短縮を図ります。また、20トン収納の乾燥機16基を、23トン収納の乾燥機16基へ更新するなど、大規模な改修・増強工事を進めています。さらに、麦を保管できる300トンのサイロ3基も新設予定です。

令和7年度外国人技能実習生修了式

10月27日、智恵文支所大会議室にて令和7年度外国人技能実習生修了式が行われました。

農業技能実習生は4月から約7ヶ月間、農業知識および農業技術を学びながら農業実習を終え、10月28日に帰国しました。

修了式では、修了証書が授与され、



村上組合長および外国人技能実習生受入協議会の三浦会長から農業実習に対するねぎらい及び前途を祝す挨拶がありました。



農林水産省の現地視察及び意見交換会の実施

令和7年10月28日、農林水産省経営局の新川協同組織課長はじめ6名が来所されました。

最初に当J A子会社が運営する哺育育成センターをご案内いたしました。

酪農家の過重労働の解消策として強い要請のもと令和3年から運営している当施設の概要を説明、優良後継牛の確保に向け、酪農家からお預かりした仔牛の育成に当該施設は欠かせない存在となっていること、また、日本一のもち米産地として有効な



資源であるもみ殻を活用した育成管理に関心が寄せられ、耕畜連携の確立について評価を頂きました。

その後、営農センターに移動し南瓜選別施設をご案内いたしました。

既に選果作業は終了しておりましたが、荷受から選別、箱詰め、出荷までの流れを説明、特に選別施設導入によって必要選果人員が減少し、コスト低減につながっていることなどを説明。全国的にも南瓜の作付が減少していることを告げ、農林水産省としても収穫作業の負担軽減に向け収穫機械の開発支援等引き続き取り進めるとのお話を頂きました。

次に、風連ライスセンターをご案内しました。

当該施設は本年より「新基本計画実装・農業構造転換支援事業」の採択をいただき、令和9年までの3ヶ年の工期にて、既存施設を活用しながら増強し、

施設整備にかかるコストを抑制し、生産者の負担を最小限にとどめながら、従来の機能に加え、多様な出荷形態に対応できる施設への改修し出荷効率を大幅に改善する旨説明。農林水産省としても新たな事業として着目しており、当地区の生産活動の発展を期待するとのお話を頂きました。

現地視察後は、村上組合長からの歓迎の挨拶後、意見交換会を実施し農協に期待される役割として、今後農業従事者が減少するなど農業が抱える課題に正面から向き合いながらどう農業者の経営をサポートしていくのか、農協の女性登用に関する状況や当J Aが名寄市、名寄市立大学と連携のもと取り組んでいる有償ボランティア事業について意見交換を行い、今後の事業運営に活かして参ります。



11月17日、グランドホテル藤花にて今年度の名寄市農業担い手交流会が開催され、加藤剛士名寄市長や村上清組合長をはじめ、農業関係機関や新規就農者が出席しました。

今年度は、新規参入者・新規学卒者・Uターン就農者を合わせて6名が新たに農業をスタートしており、このうち3名が出席しました。会場では、村上清組合長より激励状が手渡され、参加者たちは新たな決意を胸に交流を深めました。

令和7年度新規就農者

大谷一樹さん(風連地区)、沼田拓也さん(風連地区)、沼田唯七さん(風連地区)、鷺見侑太郎さん(名寄地区)、吉田隼人さん(名寄地区)、三浦春希さん(智恵文地区)



11月18日、村上清組合長と名寄市もち米生産組合の横山圭太組合長が名寄市役所を訪れ、地元農産物のPRと乳製品の消費拡大を目的に、さけるチーズ1,950個、ジャガイモ140キロ、タマネギ380キロ、もち米150キロを給食食材として寄

贈しました。市内の小中学校では、12月2日と13日の給食で名寄産のジャガイモとタマネギを使ったメニューが提供されました。また令和8年3月には名寄産もち米を使用したお赤飯の提供も予定されています。



令和7年度 上川地区JA青年部大会開催

11月11日、旭川トヨーホテルにて令和7年度上川地区JA青年部大会が開催され、当農協青年部も参加しました。



今年度の上川大会でのイベントとして当農協青年部からは、実績発表・純農boy・アームレスリングが当番でした。実績発表では(名寄支部 市本勇介氏)、純農boyでは(風連支部 山崎瑞城氏)、アームレスリングでは(智恵文支部 木之内悟氏)を選出しました。全てのイベントにおいて、惜しくも表彰を受けられませんでした。精一杯頑張っていた姿を見受けられました。

JA道北なよろ青年部 学習会・収穫祭

11月20日、JA道北なよろ宮農センターにて学習会が開催されました。

学習会では、ホクレンから講師を迎え、ザルビオ

の可変施肥について学びました。参加者は、真剣な面持ちで講習に耳を傾けていました。学習会の終盤では質問時間があり、その中でも活発に質問し、来年度に向けての意見交換をしていました。

学習会後の収穫祭は牛若丸で行われ、講師も参加して青年部部員との親睦を図っていました。



JA女性部本部視察研修に参加して

風連支部 高橋 ますみ

11月25日～26日、JA道北なよろ女性部本部の視察研修で札幌方面を訪れました。部員27名・事務局2名の総勢29名での実施となりました。

札幌エクセル東急でバイキングの昼食を楽しんだ後、1日目の視察先「福山醸造株式会社(トモエ)札幌醤油工場」へ。明治24年に札幌で開業し、大正7年に水の名所として知られる苗穂に工場を構え、恵まれた水を活かしながら、今も変わらない製法を続けています。赤レンガ倉庫が立ち並ぶ景観からは深い歴史が感じられ、かつて倉庫に鉄道が敷かれていた名残も見ることができました。

工場では説明を受けた後、2班に分かれて醤油づくりの行程を見学。重要な工程は今も人の手で丁寧に行われており、その姿に感動しました。見学後は直売所で買い物を楽しみ、続いてロイズカカオ&チョコレートタウンへ。短い滞在でしたが、見学や買い物を満喫し、宿泊先のシャトレゼ・ガートーキングダムサッポロへ無事到着しました。夕食はバ

イキング形式で、団体専用の別室をご用意いただき、周囲を気にせずゆっくり美味しい食事を味わうことができました。温泉も広く、さまざまな湯を楽しみながら心身ともにリフレッシュできました。

2日目はホクレンパールライス工場を見学。石狩新港の広大な敷地に建つ“魅せる精米工場”で、シアターで説明を受けた後、ご飯ミュージアムではクイズ形式でお米について学びました。工場見学では、玄米受入から出荷までの流れを見せていただき、最新技術にも触れました。

札幌駅北口での自由行動を挟み、最後は雪印メグミルク株式会社へ。創業当初のバターづくりやチーズなど乳製品の製造工程を、小さな模型や展示で分かりやすく紹介しており、昔懐かしいパッケージも見ることができました。また、雪印メグミルクスキー部の選手たちの活躍や経歴にも触れ、内容豊富で学びの多い時間となりました。

今回の研修では、麦・大豆・米・牛乳といった、名寄地域に深く関わる原料を扱う施設を巡ることができ、大変有意義な2日間となりました。他支部の方々との交流も深まり、若い部員の参加も多く嬉しく感じました。最後に、事務局・役員の皆さま、川原観光の運転手さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。



JA北海道女性大会・北海道家の光大会に参加して

JA道北なよろ女性部副部長 中野 寿子

11月12日13日に札幌パークホテルで大会が開催されました。全道から420名が参加しました。道北なよろからは山田部長・佐藤副部長・高橋監事・事務局眞坂係長・私の5名が参加しました。開会式の来賓挨拶最後に東野参議院議員からのビデオメッセージがあり選挙に際しての御礼の言葉もありました。

開会式後には「家の光持ち寄り読書」から始まりました。10月号特集記事の「冷蔵庫レボリューション」を読んだ方は「私は背が低いので冷蔵庫内は上段に長期保存品、下段は短期保存品を置いています」と記事内容を自分なりに活用していました。

続いて「家の光記事活用」体験発表会。4名の発表があり、JAしれとこ斜里の方が最優秀賞となり北海道代表として2月の全国大会で発表することになりました。その方は関西出身で北海道へバイクツーリングの時に広大な畑の風景に感動し斜里で暮らす決意をしたそうです。結婚後に「家の光」と出会い、記事を円に交流を広げ出会いがあったことが活動の原点となったそうです。内容が多岐

にわたり情報も充分なので是非活動すべきと言っていました。

次は「日本農業の今後の展望について～北海道農業への期待から」と題し、東京大学の鈴木宣弘氏の講演でした。三重県の半農半漁地出身で、今でも地元農協漁協の正組合員です。真珠の目利きもできる方です。メディア出演や著者が多いので皆さんもご存じと思います。食料安全保障問題の第一人者として食糧危機への対応を熱く語っていました。会場全体が聞き入って鈴木氏も私達も時間が足りませんでした。東野議員には大いに頑張ってほしいとも言っていました。

研修後は懇親会。一テーブル8名程度で名刺交換から話が弾み・アトラクション・カラオケ・クイズを楽しみ全員で「家の光100ダン」をしました。JA女性の歌では上川女協は「手話うた」をしました。

2日目はあぐり王国北海道プレゼン・MC森アナウンサーでの「農業ガールズコレクション」。森崎さんはビデオ挨拶でした。全道から17組が各地区の特産品・特産品を使った料理をPRしランウェイを歩きました。上川地区はJAあさひかわ「そばいなり」、JA東旭川「さつま芋と鶏肉、ピーマンの甘酢あんかけ」を特産品と共にPRしました。大盛況で楽しい時間でした。

大会参加は私は2回目でしたが、今回も大変有意義な時と活力をいただく事が出来ました。



二日目、11月12日 鳥取砂丘を訪れ散策しました。鳥取砂丘のある山陰海岸国立公園は昭和30年に国定公園として指定された後、昭和38年国立公園に昇格しました。鳥取砂丘については良好な砂丘景観のみられる131haが特別保護地区として指定され、あらゆる行為（砂丘への落書き・砂丘地先海域での遊泳が条例で禁止）が最も厳しく規制されています。また昭和30年、鳥取砂丘が海岸砂丘として世界的に見ても大きな起伏を持つこと、風紋・砂簾・砂柱、スリバチといった砂丘独特の地形、ハマゴウなどの植物群落を有することなど学術的に貴重であることが評価され国の天然記念物に指定されています。

散策中に、ガイドの方から「砂漠と砂丘の違い」や「鳥取砂丘の成り立ち」等を学ばせて頂きました。



次に、鳥取砂丘砂の美術館を見学しました。砂の美術館とは、気の遠くなるような年月を経て作り出された、自然の造形美「鳥取砂丘」。

そして、その砂を素材に、人の力で生み出す造形美「砂像（さぞう）」。

地域の宝である鳥取砂丘を背景に、砂の彫刻「砂像」によって、この地を多くの方に訪れていただき、楽しんでいただきたいと思います。そんな思いが現実となり、2006年11月18日に砂像を展示するプロジェクト「砂の美術館」がスタートしたとの事でした。

第16期展示「砂で世界旅行・日本」が開催されており、見学させて頂きました。



令和7年度 役員視察研修報告書

研修日程 令和7年11月11日（火）～14日（金）

参加者 役員 小川和則・中村静男・中村耕司・宗万利行
鷲見悦朗・松本和俊・永井健一・齋藤 寛

事務局 斉藤宏治・山崎賢一

【研修概要】

上記、3泊4日の日程にて中国地方（鳥取県・島根県・広島県）へ、視察研修に行っていました。行きは旭川空港から鳥取砂丘コナン空港への行程で鳥取市入りしました。

北海道は11月下旬並みの気温となり、旭川空港出発時は気温が1度程で、コート類の上着が必須でしたが、鳥取砂丘コナン空港到着時は気温18度程だった為、秋を実感できる暖かさでした。

初日、11月11日 鳥取県東部最大級のJA直売所「愛菜館」を見学しました。生産農家が早朝取れたての農産物を直接持ち込み提供しており、午後からお越しのお客様にも新鮮な農産物を見極め・提供ができるよう「午後から出荷シール」を使用し、午後出荷にも力を入れているとの事でした。



説明終了後に製造工場の見学と意見交換会をさせて頂きました。工場内は5Sの徹底により、常に清潔で整理された作業環境で商品の製造がされており、定期的に工場間でチェックをシェアうことで、常に意識を高め、改善をしているとの事でした。また、PRP 検証、拭き取り検査による清掃状況の確認及び落下菌検査による環境の清潔度評価等の、基準に沿った定期チェックを実施し、環境の維持を努めているとの事でした。

意見交換会では、小川専務より令和7年産米の作況状況や米単価高騰による影響等についての説明から始まり、アルファ食品からは商品を製造するうえで、今後も品質の良い米を提供して欲しいとの希望を受けるなど、様々な話し合いが行われ有意義な交換会となりました。



幸い天候にも恵まれ無事に役員研修を終えることが出来ました。今後とも組合員皆様の営農、生活、更には地域が少しでも良くなるよう、責務を果たして参りたいと云う思いを結びとして視察研修報告と致します。



三日目、11月13日 縁結びの神様として有名な島根県出雲市にある出雲大社を参拝させて頂きました。

旧暦10月10日（本年は11月29日）は「神無月（かんなづき）」と呼ばれますが、その時期には全国の神様が出雲大社に集まることから、出雲では「神在月（かみありづき）」と呼ばれ多くの観光客が参拝に訪れます。

出雲大社の参拝後に、当農協の取引先であるアルファ食品株式会社を視察させて頂きました。林代表取締役の対応にて会社の沿革・概況について説明を受けました。

- アルファ食品株式会社は
- 昭和41年6月に設立
- 昭和42年8月に荒木工場を設立し、アルファ化米の製造を開始
- 昭和46年3月に特殊法人日本学校給食会とアルファ化米の委託加工契約を締結
- 昭和57年8月にウェット米飯の製造を開始
- 昭和62年8月に株式会社大幸にて精米工場建設
- 昭和63年9月にレトルト具材の製造を開始
- 平成11年9月にウェット米飯専用工場建設
- 平成20年10月にレトルト具材専用工場建設
- 平成24年9月に非常用アルファ化米専用工場建設
- 平成24年11月に一般社団法人 赤飯文化啓発協会 発足
- 平成30年4月に非常食（アルファ化米、レトルト米飯 等）の製造
- 令和元年5月に米加工食品（アルファ化米、レトルト米飯 等）及び具材、スープ類の製造

上記の事業展開を経て現在に至っております。

シートベルト着用

義務化



道路運送車両の保安基準改正(※)により、乗用型トラクタで道路を走行する際には、シートベルト着用が義務化されます。 ※令和7年6月17日公布



義務化はいつから？

令和9年1月1日 からです。

どのトラクタが対象？

令和9年1月1日以降に 製造された 座席を有するトラクタは、大型特殊自動車・小型特殊自動車に限らず対象車となります。

対象のトラクタには、ボンネット側面に座席ベルト着用義務車を示すステッカー(※)が貼付されます。

※ステッカーのイメージ



座席ベルト着用義務車



座席ベルト着用義務車

違反した場合は？

シートベルトの着用義務違反として、点数1点が付されます。

農林水産省

裏面へ

JAへの就職希望者100%就職(令和7年度実績)

令和8年度入学生 第3回募集



- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年
- 寮完備(個室)/通学也可
- 受験資格 満27歳未満(令和7年4月1日現在)
大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、
高校卒及び見込
- 試験日 令和8年2月15日(日)
- 願書受付 令和8年1月6日(火)～1月23日(金)消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

JAグループ職員養成校  **JAカレッジ**
一般財団法人 北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1 ☎0120-918-417 「JAカレッジ」で検索

※JA道北なよろに就職希望の方は奨学金制度があります。詳しくは総務課まで。

マネロン・金融犯罪対策への取組強化について

最近、様々な金融犯罪が発生し、その手法や手口も巧妙かつ高度になってきています。新聞等での報道を見て心配に感じられる組合員・利用者の方々も多いのではないかと思います。また、国際的に金融機関が取り組まなければならない課題として、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策(以下「マネロン対策」)の重要性が益々高まっています。マネロン・金融犯罪対策に取り組むことは、信用事業を営む当組合の責務でもあります。

当組合では、金融機関としての信頼性を確保するため、そして、お客様の大切な財産を金融犯罪からお守りするために、マネロン・金融犯罪対策の取組みを重要な経営課題と位置づけて、一層力を入れて取り組むことといたします。

このたび、本支所金融課と審査課の管理職員をマネロン・金融犯罪対策リーダーに任命し、組合全体としての取組みの定着化・高度化に向けて、職員の先頭に立って取組みを進めてもらう予定です。私を含め常勤理事もマネロン・金融犯罪対策が組合内で徹底されるよう指揮のうえ、組合員・利用者の方に安心して当組合を利用いただけるよう取り組んでまいります。

令和8年1月
代表理事組合長 村上 清

認定農業者制度に関する農業経営改善計画書の 申請方法のお知らせ

複数市町村(所有地・借地問わず)で営農する 認定農業者の手続きについて

複数市町村で農業を営む農業者が経営改善計画の認定を申請する場合は、**営農区域に応じて都道府県又は国が農業経営改善計画の認定を一括で行うこと**になりました。

(北海道の場合は上川総合振興局で審査を行い認定)

なお、現時点で既に特定の市町村で認定を受けている農業経営改善計画の有効期間中は、改めて都道府県又は国への認定申請を行う必要はありません。

以下に該当する場合は、道認定の対象となりますので申請または変更の際にはご留意下さい。

該当者

- **対象者** 複数の自治体において耕作地をお持ちの方
(所有地・借地問わず)
- **申請対象** 新たに認定農業者制度を受ける者または認定変更を受ける者
- **申請書類** 農業経営改善計画書・他市町村面積等がわかる書類
(農家台帳等)
- **注意事項** 申請時点で他市町村において耕作地を持っており、上記申請による認定でない場合、補助事業や経営基盤強化準備金を受けられない場合がございます。
北海道認定については、通常よりも審査期間が長くなる場合がございますのでご留意ください。

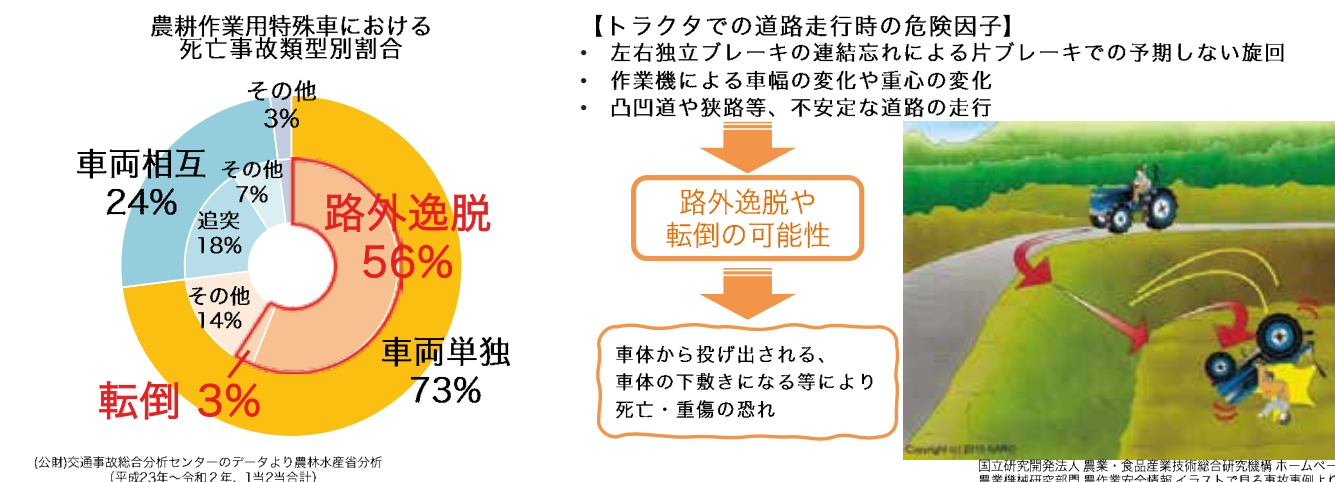
お問い合わせ

名寄市役所経済部農務課農政係 (担当 梅坪)
TEL: 01655-3-2511 (内線 2313)
FAX: 01655-7-8080

シートベルトを締めましょう！ シートベルト着用は、 トラクタの死亡事故率低下に有効です

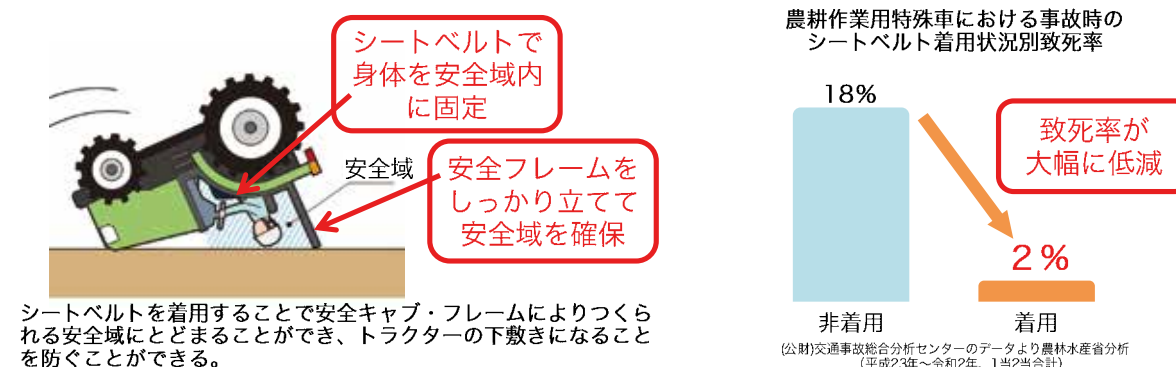
トラクタの交通事故の特徴

農耕作業用特殊車の死亡事故は車両単独による**路外逸脱・転倒**が多く、特に乗用型トラクタの死亡事故が多い状況。



シートベルトの効果

乗用型トラクタの路外逸脱・転倒事故における死亡・重傷リスクに対し、シートベルトを安全キャブ・フレームとセットで使うことが重要！



参考情報

農林水産省ホームページもご覧ください。



理事会の経過

第九回定例理事会

開催日 十月二十日

【決議事項】

- 一、 財務管理規程の一部改正について 提案通り決定
- 二、 組合と理事との契約（貸付）について 提案通り決定
- 三、 与信残高4,000万円超への貸付に係る承認について 提案通り決定
- 四、 組合員勘定制度に基づく審査方針・基準について 提案通り決定

第十回定例理事会

開催日 十一月二十八日

【決議事項】

- 一、 外国人技能実習生受入事業について 提案通り決定
- 二、 道常例検査にかかる回答について 提案通り決定
- 三、 役員選任推薦委員（全域）の選出について 提案通り決定
- 四、 組合と理事との契約（貸付）について 提案通り決定
- 五、 与信残高4,000万円超への貸付に係る承認について 提案通り決定
- 六、 令和7年産共計大豆の概算払いについて 提案通り決定

【協議事項】

- 七、 令和7年度経営安定所得対策に係る仮渡金の対応について 提案通り決定
- 八、 名寄市への振興施策に対する要請について 提案通り決定
- 九、 令和8年度営農計画書の作成について 提案通り決定
- 一、 地区別懇談会の開催について 提案通り決定

JAのあゆみ

令和7年

- 10月 27日 第5回経済委員会
- 30日 第4回総務委員会
- 30日 第11回監事会
- 30日 第9回定例理事会
- 31日 期中棚卸監査

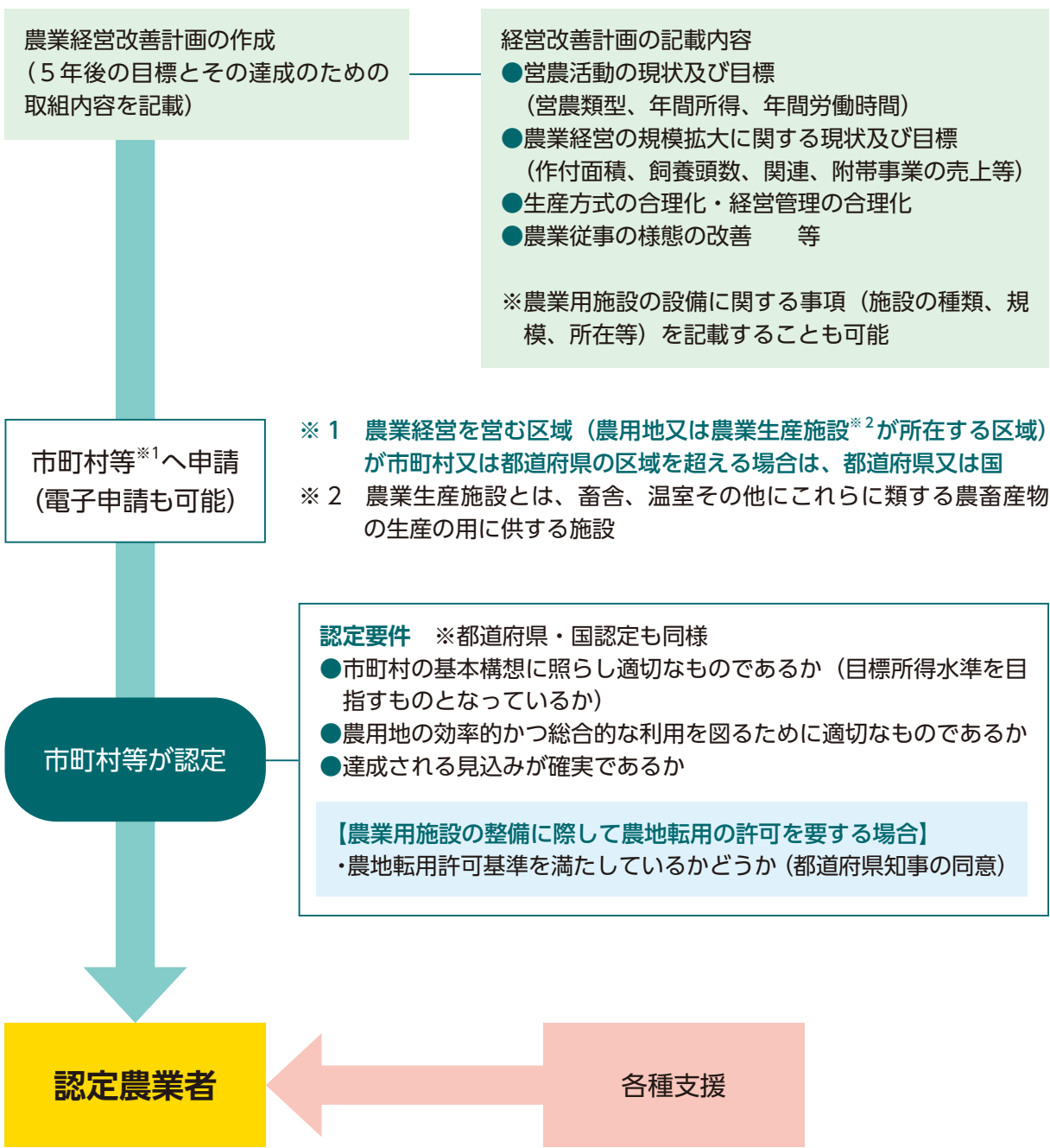
11月

- 19日～21日 みのにり監査法人 期中Ⅱ監査
- 25日～27日 第3・四半期監査
- 26日 第6回経済委員会
- 27日 第5回総務委員会
- 28日 第12回監事会
- 28日 第10回定例理事会



認定農業者制度の概要

- 担い手が農業生産の担当部分を担う農業構造を確立するため、農業経営基盤強化促進法（1993年制度）に基づく認定農業者制度を創設。
- 農業者が市町村の基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自ら創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画を市町村等が認定し、これらの認定を受けた農業者に対して支援措置を講じようとするもの。



近 ころ、なんでも高値
なので、畑で採ったか
(風連)

今 年の夏は、一番あつく、
春夏秋冬でなく、夏
か冬の季節のようでした。
自家のなすびは大きくなり
すぎ、カボチャは巨大すぎ
るくらい良かった？
最近の移り変わりでは、
突然女性首相誕生となり、
変動の年になりそうです。

／**声の広場**／

職 場で、〇〇のハンバ
ーが美味しい!!△
△のチーズケーキが美味し
かった!!と、たびたびおいし
(風連)

サ ンタさんに「Aをた
のみました。早くとど
いてほしいです。妹は、イ
ブをたのんだそうです。
(風連)

こ の春同居していた娘
が就職し巣立ちまし
て、結婚以来子供の居ない
生活が始まり、作業で忙し
な生活だったので慣れず、ふと
寂しくなる時がありました。
以後作業が終わると家の中
がシーンと静かで…。それ
にも慣れ、2人分の家事に
(名寄)

も感覚をつかめてきました。
愛犬がいるので救いでした。
これからは忘れていた、自
分磨きに精を出し、やりた
かったことにチャレンジ!!し
て(冬眠中)だけになりそう
ですが(毎日)を大切に過ご
します。
(智恵文)

……
今回の応募総数は18通で
した。ありがとうございま
す。
皆様からの沢山のご応募
お待ちしております！

- ヨコのキー**
- 1 500円玉〇〇〇〇で
10万円たまった！
 - 4 博士が地道に行つて、成
果を発表
 - 8 地道に病人の〇〇をし
て、見事全快
 - 9 セオリーのこと
 - 10 雨垂れ〇〇を穿つ、根気
よく続けよう
 - 11 小学校の前を通つ
 - 12 「絹」の部首
 - 14 竹のポツコリ部分

- 15 国連の常任〇〇国
- 18 上達のため、毎日地道に
行つもの
- 19 パンヤの異称
- 21 ライブ中心で地道に努
力、〇〇アイドル
- 23 毎日読書して、1年で
3000〇〇読破！
- 24 他からのサポートを得
ず、〇〇で行う
- 25 シーサーの役目
- 27 じつと我慢。〇〇〇〇力
が大事
- 29 地道に歩いて、ウサギと

- 30 の競争に勝利
白でひいて作る
- 32 地道にがんばつて、めざ
せNo.〇〇！
- 33 猫の体につく虫
- 34 何度も何度も繰り返す、
日々の〇〇〇〇〇〇が大
切
- 36 ピースを地道にはめ込
み、ついに完成！
- 38 ジョーカーの札
- 40 水のせき止め施設
- 41 アメリカを表す漢字
- 43 手帳の暦に記入

- 44 地道にコツコツ、気を抜
かずがんばる人
- 47 席に座らず観劇
- 49 外回りで地道にコレをし
て契約を取る
- 51 ラクダの背中に
日々の経験が血となり
〇〇となる
- 53 「九十九」の読み
- 54 土台。地道にコツコツと
〇〇を固める
- 57 細かい描写で非常に手
間のかかる絵
- 58 十二支の3番目

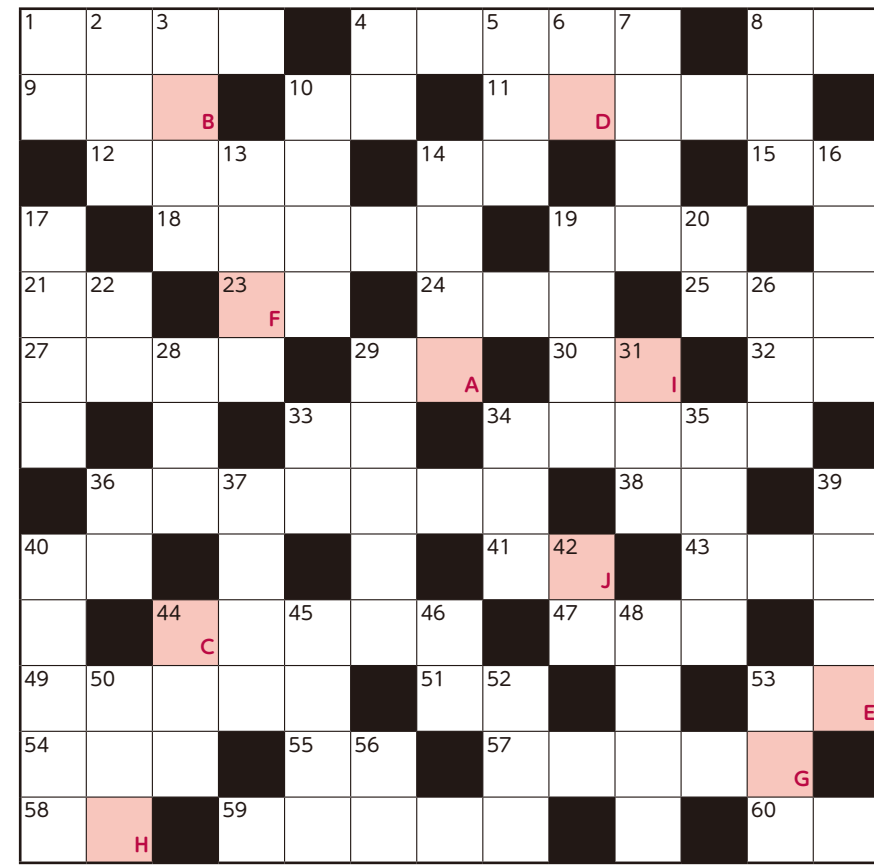
- 59 陰で地道に支える〇〇
〇〇〇の力持ち
- 60 毎日勉強して、テストで
いい〇〇取るう



前回のパズルの答え

- コンナンモハネカエス**
「プレゼント当選者」
正解者の中から抽選で次の5名の
方に商品券を送ります。
- 田村 龍希(風連)
 - 清水 好(名寄)
 - 樫谷 瑞稀(名寄)
 - 鷺田 沙羅(智恵文)
 - 大石 美由紀(智恵文)

地道にコツコツ**積み重ねてきました**



回答欄 A B C D E F G H I J

クロスワードを解きA～Jをつないだ言葉を答えて下さい。
※「クロスワードTOP」より

割引のためにポイントカードを
作っても、次回の買い物をする前に
ポイント失効することがよくありま
す…なかなかうまくいきませんね。

正解者の中から
抽選で5名様に
「商品券」をプレゼント!!

解答は、本誌に添付されたハガ
キに記入して送付して下さい!

FAXでも受付しております
01655-3-4045

【応募締め切り・発表】
令和8年1月31日(当日消印有効)
当選者は次号でお知らせします。
多数のご応募お待ちしております!

タテのキー

- 1 〇〇も積もれば山とな
る!
- 2 着用して体を防護
- 3 毎日コレをしてムキムキ
な体に!
- 4 実はアンパンの上に
- 5 「小さなことからコツコ
ツ」といえば西川〇〇
- 6 ?V良V可V不可
- 7 インサイド
- 8 牛の歩みも〇〇〇。諦め
ず続けよう
- 10 暗くてジメジメ
- 13 借金をコツコツと…
- 14 封筒に書く「メ」
- 16 大学〇〇〇〇に向けて
- 17 地道に勉強
- 19 ローマは〇〇〇〇にして
ならず!
- 20 事件捜査で刑事が地道
に各所を尋ね回る
- 22 〇〇磨かざれば光なし。
修養を積まなければ才
能も無駄に
ピンときた1
- 26 「できない…」なんて〇〇

- 28 〇は吐かない
プロレスで組む。〇〇〇
- 29 マツチ
- 31 牛乳の、量める容器
- 33 真ん中の辺り
- 34 いいえ
- 36 〇〇〇縄井桁を断つ、な
んて言葉も
- 37 会社の机で〇〇作業
- 39 家出して地道に仏道の
修行をする人
- 40 〇〇〇〇は力なり!
- 42 地道に運動して体重を
減らしたわよ!
- 44 候補者が各家を回るド
ブ〇〇選挙
- 45 驚いて抜かれるもの
- 46 ピアノを日本語で
- 48 昔のこと
- 50 手取り早い方法。この
ルートは選ばずコツコツ
と着実に
- 52 値が気になる魚卵?
- 53 しばらく訪問も連絡も
していません
- 56 地道にがんばつて、コレ
を克服だ!
- 59 植物を栽培する庭

年末年始の業務について

年末年始期間中の業務を下記の通り行いますので、ご利用いただきますようご案内申し上げます。

		12月29日 (月)	12月30日 (火)	12月31日 (水)	1月1日 (木)	1月2日 (金)	1月3日 (土)	1月4日 (日)	1月5日 (月)	1月6日 (火)	1月7日 (水)
風連本所	金融共済	平常通り営業	8:45～ 16:00	休業	休業	休業	休業	休業	8:45～ 16:00	8:45～ 16:00	平常通り営業
	(ATM)		(8:45～ 17:00)	休業	休業	休業	休業	休業	(8:45～ 17:00)	(8:45～ 17:00)	
	スタンド		7:00～ 19:00	休業	休業	休業	休業	7:00～ 19:00	7:00～ 19:00	7:00～ 19:00	
	(ピット)		(休業)	休業				(休業)	(休業)	(休業)	
	生産資材		休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	一般業務・ 農機車輛		休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
名寄支所	金融共済		8:45～ 16:00	休業	休業	休業	休業	休業	8:45～ 16:00	8:45～ 16:00	
	(ATM)		(8:45～ 17:00)	休業	休業	休業	休業	休業	(8:45～ 17:00)	(8:45～ 17:00)	
	スタンド		7:00～ 19:00	休業	休業	休業	休業	7:00～ 19:00	7:00～ 19:00	7:00～ 19:00	
	(ピット)		(休業)	休業				(休業)	(休業)	(休業)	
	生産資材		休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
智恵文支所	金融共済		8:45～ 16:00	休業	休業	休業	休業	休業	8:45～ 16:00	8:45～ 16:00	
	(ATM)		(8:45～ 17:00)	休業	休業	休業	休業	休業	(8:45～ 17:00)	(8:45～ 17:00)	
	スタンド		休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	生産資材・ 農機車輛		休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
宮農センター			休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	

※12月31日(水)から1月4日(日)までの交通事故の対応については、
JA共済事故受付センター(フリーダイヤル0120-258931)へご連絡下さい。